

平成29年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成27年度339,696千円、平成28年度318,400千円、平成29年度318,400千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 201,094人(前年度190,813人) ・稼働率99.1%(前年度98.9%)※利用日数に対する利用率 ・利用率87.9%(前年度87.2%)※利用可能区分に対する利用率 <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については施設の基本方針である①生涯学習②地域支援③地域交流の3つの内容を基に140回の事業を行った。(前年度155事業) ・維持管理の面では中長期修繕計画に基づき設備の予防保全の修繕を行った。 ・コミュニティ活動・生涯学習活動の拠点施設としてのコミュニティセンターの広報活動として、ホームページの更新と毎月発行の「コミセンだより」により、自主事業の開催やコミュニティ活動等の情報提供及び利用上の案内等を掲載した。 ・主催事業の開催やコミセンまつり等の自主事業やイベントを通して、地域団体の交流や協働事業の推進、地域文化の振興を図った。 ・複合公益施設の管理運営については、サウスピア連絡調整会議や代表者連絡会議を通じて、それぞれの施設の機能が十分に発揮できるように共用部分の有効的活用や案内表示の改善、空調設備の調整その他施設設備の維持管理に努めた。また館内の警備保安と駐車場・駐輪場の適正な貸出しを行った。 ・施設の貸出しについては、公共施設予約システムの更新に対応準拠し、引き続き公平公正な貸出し業務の推進と利用者サービスの向上に努めた。

	<p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画による施設、設備等の保守管理及び修繕を実施・完了した。 ・施設警備については、警備業務外の南区役所の業務補助等も実施してきた。 <p>③その他(広報等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上で利用者に最新情報、過去実施事業、施設のお知らせ等を見やすく情報提供した。
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化事業・その他収入 3,482千円 (前年度3,072千円) ・指定管理料 318,400千円 (前年度318,400千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 166,345千円 (前年度169,843千円) ・事務費 79,015千円 (前年度78,866千円) ・施設管理費 73,443千円 (前年度69,611千円) ・事業費 3,077千円 (前年度3,151千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、利用者満足度調査、自主事業受講者対象アンケート、一言カードの3点から利用者様の意見聴取に努めた。 ・昨年度のアンケートを基に自主事業の計画を立て、実施した。(140回)
(8)その他	<p>平成29年度は昨年同様、主催事業には力を入れた。特に第2回埼玉学生鉄道模型展in武蔵浦和(約4,000人来場)、第5回武蔵浦和コミセンまつり(約3,500人来場)の大規模な事業の他、武蔵浦和環境展を開催し、近隣の保育園6園からご協力をいただき、園児の環境に関する絵を展示した。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
職員教育・関係法令順守・個人情報保護	業務に従事するもの全員を対象に、年2回の職員研修(指定管理者研修・接遇研修等とコンプライアンス研修及び個人情報の保護に関する研修を実施した。そのほか、PMS(個人情報保護マネジメントシステム)テストを全員に課し、全問正解になるまで担当者がフォローアップした。
自主事業実施と地域のコミュニティ活動の支援	地域住民の学習要求に応じた様々な講座・教室の開設をはじめ、学習者の各世代に対応した講座を企画し実施した。また、コミセンまつりなどを通して、地域グループの交流と協力体制の基盤づくりに努め、地域連絡協議会委員や南区コミュニティ課とも連携を図りながら事業を進めたことにより、地域のコミュニティセンターとしての役割が定着してきている。
経費削減・省エネルギー推進によるコスト削減	今年度は電灯のタイムスケジュールの見直しを行い、関係各所と調整を取りながら無駄な電力の消費を削減した。利用者に影響の無い共用部分や事務スペース部分などで照明の間引きや消灯を実施するほか、空調の設定温度の一定保持に努めた。また、サウスピア全体のエネルギー使用量をデータベース化し、不要な消費を避けるよう省エネルギー管理を行った。使用量は昨年とほぼ変わらないにも関わらず、電気とガスの単価が大幅に上がったため、光熱水費の削減をする事は出来なかった。
利用者安全確保の取り組み等	危機管理マニュアルの見直し・更新を関係各所と調整しながら行った。ハザードマップの作成を行った。定期的消防避難訓練には、区役所、図書館、老セン、子育て支援センターの各自衛消防隊のほか、コミセン利用者にも訓練に参加していただき、避難経路の確認や消防設備の基本的操作の習得を内容として実施した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

平成29年度は昨年に引き続き、生涯学習、地域支援、地域交流の3つの観点から140回の事業を行った。昨年度まで行った利用者様のアンケートを基に、施設の設置目的や、当グループの基本方針を踏まえ実施した。

隔月で実施している駅前寄席は毎回満席で幅広い年齢層の方々に日本の古典芸能を親しんで頂いた。「学生鉄道模型展」「コミセン祭り」という2つの大規模な主催事業もたくさんの来場者に恵まれ、大変好評を得て次回開催の希望の声も多数頂いた。今年度は利用者施設利用を圧迫しない様に主催事業を行っていく事が課題であったので、昨年より15回少ない140回の事業を開催にした。引き続き利用者の声には耳を傾けていく事が必要である。サウスピーア全体の維持管理については月一回の南区関係各所との連絡調整会議を毎月行い、サウスピーア全体の運用の打ち合わせを綿密に行い、利用者・職員の為の快適な環境作りに努めた。また、中長期修繕計画を基に予防保全を行い、設備の延命化による中長期の修繕費の削減に努めた。省エネについては昨年に引き続き電球の間引き、電灯の点灯スケジュールの見直し、各水道の流量の調整見直しを行った。会議体は所管課との定例会の他、地域の市民・周辺施設の代表者との連絡協議会、南区関係各所との連絡調整会議、指定管理者内部での運営会議・責任者会議・各部門ミーティングを行った。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

- ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進
・事業内容を工夫し、幅広い年代が利用できるように努めていた。
- ②経費の削減
・空調や照明のスケジュールを決め、節約に努めていた。
- ③適正な管理運営の確保
・保守点検はおおむね計画どおりに実施されていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に管理運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実を図るため、自主事業の工夫に努めるとともに、適切な施設の点検及び修繕を実施するよう指導していく。